

# 感染症情報 4月20日～26日

府下小児科196医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	224例(堺市	15例)
②溶連菌感染症	83例(堺市	1例)
③突発性発疹	56例(堺市	2例)
④咽頭結膜熱	15例(堺市	1例)
⑤水痘	10例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点299医療機関(堺市28)から

インフルエンザ	2例(堺市	0例)
---------	-------	-----

が報告された。感染症報告数は前週比19.3%減の430件であった。新型コロナウイルス感染防止のため、検査がほとんど行われていないので、参考値としていただきたい。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して8%減、堺市では前週14例→今回15例であった。溶連菌感染症は府下で23%減、堺市で前週・今回とも1例であった。咽頭結膜熱は府下で35%減、堺市で0例→1例であった。水痘が府下で63%減、堺市で1→0例であった。

**指定感染症：** 大阪府下の新型コロナウイルス感染症は4月20日から26日までに277例増えて、累計1,498例となっていた。大阪府では1月26日から4月28日まで延べ14,725件を検査して1,553件陽性(単純陽性率10.5%)。直近の4月22日から28日では、3,212件検査して204件陽性であった(単純陽性率は4月15～21日が12.7%→4月22～28日は6.4%に改善)。

堺市では2月6日から4月29日までの949検査中、95例が陽性で(一部堺市以外の検査も含む。単純陽性率は10.0%)、直近の4月23日から4月29日の198検査中、5例が陽性であった(単純陽性率は前週8.1%→今回2.5%と大きく改善している)。

麻疹や風疹の報告はなかった。